

令和3年度 公立大学法人北九州市立大学評価委員会（第2回）議事要旨

- 1 開催日時 令和3年7月21日（水） 9：30～12：10
- 2 開催場所 北九州市立大学 北方キャンパス E-701会議室
- 3 出席委員（五十音順：敬称略）
井上 洋美、権頭 喜美恵、勢一 智子（web参加）、安浦 寛人、
吉谷 愛（web参加）

4 議事内容

（議事に入る前に、議題3の非公開について全会一致で決定した。）

（1）コロナ禍における評価の考え方について

事務局から、コロナ禍における評価の考え方（案）について説明し、案の通り決定した。

（2）質疑応答（主なもののみ記載）

ア 北九州市立大学から、資料3及び資料4について説明。

イ 質疑応答

○派遣留学やインターンシップの今後について

（委員）派遣留学やインターンシップの中止により、これまで大学が積み上げてきた伝統が途切れることになる。これは単年度だけの問題ではなく、今後の大きな課題となる。

○大学運営への学生の参画について

（委員）大学の運営に学生は参画しているのか。

（大学）直接、学生が運営会議等に出席することはないが、例えば女子トイレの改善やオープンキャンパス等、学生が直接かかわるものについては、学生が参画している。

（委員）マネジメント研究科では、教職員と学生が運営に関し意見交換する場がある。同じような仕組みが学部生にもあれば良いと考える。

○ITの推進について

（委員）オンラインへの切替などコロナへの対応が早く、特にWindows Virtual Desktop（WVD/現AVD）の導入の早さに感心している。今後もぜひAVDの展開を進めてほしい。

（大学）全学一丸となってオンラインへの切替に取り組んだ。WVDは非常に有益なので、他大学でもぜひ取り入れると良いと思う。

○不祥事への対応について

（委員）2018年、2019年と不祥事が続いたが、特に女子学生の多い大学として、これら不祥事を踏まえた改善策は。

（大学）不祥事対応は重要な課題と考えており、人権研修や問題のある教員への改善プログラム等を行っている。今年度は、多様な悩みを抱える学生への対応のため、ダイバーシティ担当の学長補佐を据えた。

（3）評価（案）の検討

非公開による協議のため、非公表。